

市営バス 美良布・大栃線 引き継ぎ式

4月1日にジェイアール四国バス美良布駅にて美良布・大栃線の引継ぎ式が行われました。

ジェイアール四国バス『大栃線』は、昭和10年に運行が開始されて以来、85年という長い歴史のなか、住民の重要な交通手段として、地域の発展を支えてきた路線です。

諸事情により、ジェイアール四国バス路線バスの、美良布から大栃の区間が廃線となりましたが、今後は、代替運行として、市営バス『美良布・大栃線』を新たに運行し、香北観光株式会社が委託運行する事となりました。

これからも、市民の皆さんの重要な交通手段として生活を支えていきます。



土佐山田柔道クラブ 団体表彰を受賞

3月4日、土佐山田柔道クラブが、「永年にわたり、少年少女の柔道指導を通じ人間教育及び健全育成に尽力し地域柔道の普及・発展に寄与し、他の模範となる」とその功績が認められ、公益財団法人全日本柔道連盟（山下泰裕会長）・少年少女柔道普及振興基金（白石基金）から『団体表彰』を受けられました。

これを受けて、代表者の清岡栄一さんは「今回の受賞を励みにこれからも柔道を通じ、地域における少年少女の健全育成に努め、地域スポーツの振興と健康の維持増進に寄与したい」と話されました。



黄帽子とランドセルカバー が寄贈されました

4月6日、高知県交通安全協会香美支部から黄帽子244点、香美市交通安全母の会からランドセルカバー185点を香美市に対し寄贈する目録が手渡されました。

毎年、新入学児童の安心で安全な通学を目的として、寄贈いただいています。



令和2年全国広報コンクールの広報紙市部門（各都道府県から選抜された広報紙67点、うち、受賞11点）で、2019年2月号の広報香美が入選を果たすことができました。

この受賞は、いつも広報紙をご覧いただき、取材を快く引き受けくださり、また、情報を提供していただいている市民の皆さんのおかげです。今後も皆さんに、より読みたくなる広報紙をお届けできるよう、一層精進してまいりますので、今後も変わらずご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年 春の叙勲



令和2年4月29日に発令された春の叙勲の市内受章者を紹介します。

春の叙勲 瑞宝双光章（消防功労）



いおろい とおる
五百蔵 透さん（82歳）
土佐山田町本村

五百蔵さんは、一昨年に退団されるまで、約55年の間、消防団に在団されました。分団長を経て、市消防団の副団長、団長も務められました。

「消防団人生の中で、やっぱり忘れることができないのは、繁藤災害やね」昭和47年7月に起こった未曾有の大災害。当時、五百蔵さんが所属していた分団員11人のうち7人が二次災害である土砂崩れに巻き込まれたつらい思い出。

「昔は消防団員もたくさんいました。ただ、繁藤災害以降は勧誘しても、親が許しをくれず、分団の再建には苦労しました」と話され、「繁藤災害以外にも、船谷の山火事や98豪雨の時も大変だった思い出があります」と語ってくれました。

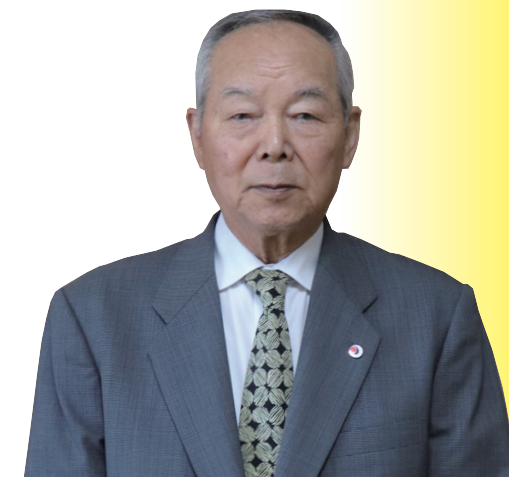
災害がある度に現場へ駆けつけた日々。「これからは、米作りをしていきます。最近、ケールも育てはじめました。あとは、酒かな」と、取材の最後に笑顔を見せてくれました。

春の叙勲 瑞宝双光章（教育功労）

三谷さんは、昭和45年に物部村立大栃中学校で教諭としてスタートされ、繁藤中学校長、山田小学校長、大津中学校長を経て、平成16年3月に城北中学校長を退職されるまで30年余りの長きにわたり、その職務を全うされました。平成13年には高知市小中学校校長会会長を、平成14年からは高知県小中学校校長会会長も務められました。

在職中は、従来の教育方法から一歩踏み込み、大人数のクラスを習熟度ごとに再編成し、きめ細やかな教育を心がけ取り組んで来られたとのことでした。また、採用時から部活動の指導にも熱心に取り組み、大栃中学校在職時、剣道部を県大会で優勝にまで導くような活躍もされました。

退職後には高知県剣道連盟副会長や高知市教育委員会社会教育指導主事、香美市民生委員等も務められ、毎日忙しい日々を過ごされています。



みたに てるお
三谷 昭雄さん（76歳）
土佐山田町植